

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 盛土地域の震度の実態調査を	以前から地震の際、他地域に比べ震度が低いのではないかと言われてきました。2月13日の地震では女川周辺市町が震度5、女川が震度4でした。
	このことに関して、「うみねこタイムズ」107号に町長の記事が掲載されており、「地震計の設置個所が特異なのではなく、町全体として地盤が固い」とのことでした。
	しかし、女川には盛土地域が存在します。盛土地域の自立再建、公営住宅の4階、5階の住民から揺れが大きいとの声が寄せられています。
	各地域の実態調査を。
	(質問の相手：町長・担当課長)

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 森林育成のための 圃場を	国がカーボンニュートラルの姿勢を強めています。これに貢献するものとして、森林の育成が考えられます。ところが、近年2019年のアマゾン森林火災、2019年～2020年にかけてオーストラリアの森林火災、日本でも、2021年2月末の栃木県足利市の森林火災と相次ぐ森林消失が起きています。
	女川漁協青年部が磯焼け調査に取り組むそうですが、大いに期待するものです。それを応援するためにも、海、山一体となった取組が必要と考えます。
	また、蓄電にセルロースナノファイバーの実用性が増せば、樹木、森林の重要性は更に高まると思います。
	本町でも、森林育成のため、町有地の一部を利用し、圃場を造り、苗木を育ててはどうでしょうか。
	町民や町外の人たちの協力も得て、森造り、町づくりをすることで、更に女川に愛着を持ってもらえると思います。
	是非、圃場を。
	(質問の相手：町長・担当課長)